参考資料　－5分以上の遅延で発行する遅延証明書の発行状況について－

資料7－3

国土交通省

【機密性2】

- 平日の2／3以上の日で遅延が発生している路線が、全51路線中16路線（約30%）ある。
- これらの慢性的な遅延は、3事業者（JR東日本、東京メトロ、東京都交通局）に集中している。
- 東京メトロ、東京都交通局で遅延が慢性化している路線は、郊外から直通運転を実施している路線であり、相互直通運転により遅延が拡大していることがうかがえる。

事業者名	路線名	発行日数	発行割合	時間帯
JR東日本	山手線（全線）	18	90%	7:00～11:00
	京浜東北線・根岸線（大宮～大船）	17	85%	
	中央快速線・中央本線（東京～甲府）	17	85%	
	東海道線（東京～湯河原）	16	80%	
	横須賀線・総武快速線（大船～東京～稲毛）	17	85%	
	宇都宮線・高崎線（上野～那須塩原・神保原）	17	85%	
	中央・総武線各駅停車（三鷹～千葉）	16	80%	
	埼京線・川越線（大崎～新宿～武蔵高萩）	16	80%	
	常磐快速線・常磐線（上野～羽鳥）	9	45%	
	常磐線各駅停車（綾瀬～取手）	13	65%	
	南武線（川崎～立川）	6	30%	
	横浜線（東神奈川～八王子）	5	25%	
	相模線（茅ヶ崎～橋本）	0	0%	
	武蔵野線（府中本町～西船橋）	10	50%	
	青梅線（西立川駅発車時の遅れ）	6	30%	
	京葉線（東京駅発着時の遅れ）	8	40%	
東武	伊勢崎線	7	35%	7:00～9:00
	日光線	5	25%	
	野田線	1	5%	
	東上線	9	45%	
	越生線	3	15%	
西武	池袋線	9	45%	初電～9:00
	新宿線	8	40%	
京成	本線、その他	－		初電～10:00

事業者名	路線名	発行日数	発行割合	時間帯
京王	京王線	8	40%	初電～10:00
	井の頭線	4	20%	
小田急	小田急線	7	35%	初電～10:00
東急	東横線	7	35%	初電～10:00
	目黒線	5	25%	
	田園都市線	11	55%	
	大井町線	4	20%	
	池上線	5	25%	
	東急多摩線	1	5%	
	世田谷線	2	10%	
	こどもの国線	0	0%	
京急	品川～横浜	2	10%	初電～9:00
	空港線内	0	0%	
相鉄	相鉄線	3	15%	7:00～9:30
東京メトロ	銀座線	9	45%	7:00～10:00
	丸ノ内線	9	45%	
	日比谷線	9	45%	
	東西線	15	75%	
	千代田線	19	95%	
	有楽町線	13	65%	
	半蔵門線	20	100%	
	南北線	17	85%	
	副都心線	14	70%	
東京都交通局	浅草線	5	25%	7:00～10:00
	三田線	15	75%	
	新宿線	6	30%	
	大江戸線	4	20%	

※首都圏11事業者51路線の平成25年11月の平日20日間における遅延証明書の発行状況

参考資料　－30分以下（3分以上）の遅延の発生状況について－

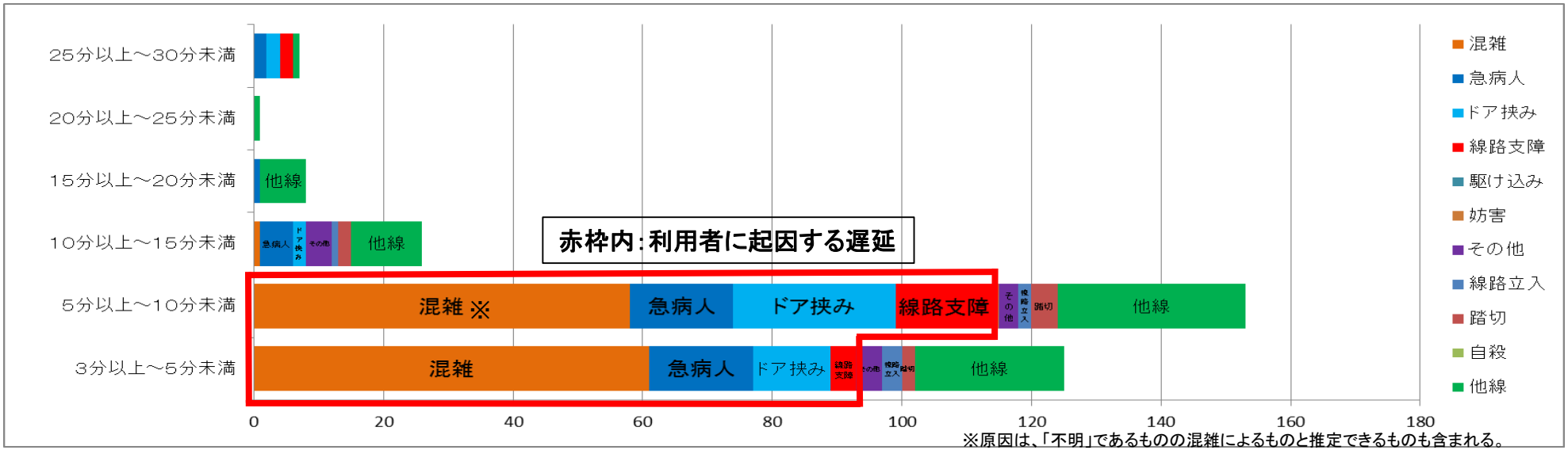
国土交通省
【機密性2】

＜状　　況＞

①主要19路線では、3分以上の遅延の発生状況を調査したところ、遅延が、調査期間20日間中、平均13日で発生（約2／3）
②このうち、3分～10分未満の遅延が全体の約86%となっている。
③天候の影響として、雨の日は、晴れの日より、遅延が増大

＜要　　因＞

①部内、部外の別では、**部外要因が94%、部内要因が6%**
②部外要因の中でも、**混雑・混雑を背景としたドア挟み（計47%）、急病人（12%）、線路支障（落とし物等）（6%）など、利用者に起因する遅延が約7割**を占めている。



※原因は、「不明」であるものの混雑によるものと推定できるものも含まれる。

【対象路線・対象事業者】　○１０事業者、１９路線２３区間
【対象期間】　○平成２５年１１月の平日（２０日間）の朝ラッシュ時（最混雑時間帯を含む前後２時間）

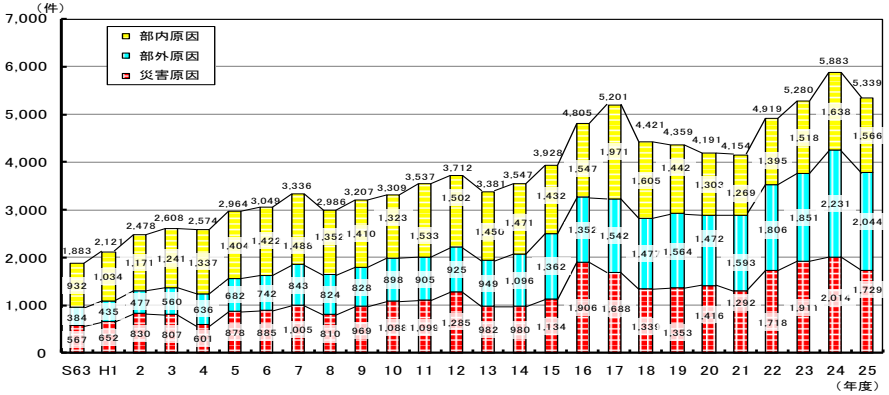
参考資料　ー輸送障害の発生状況についてー

国土交通省

【機密性2】

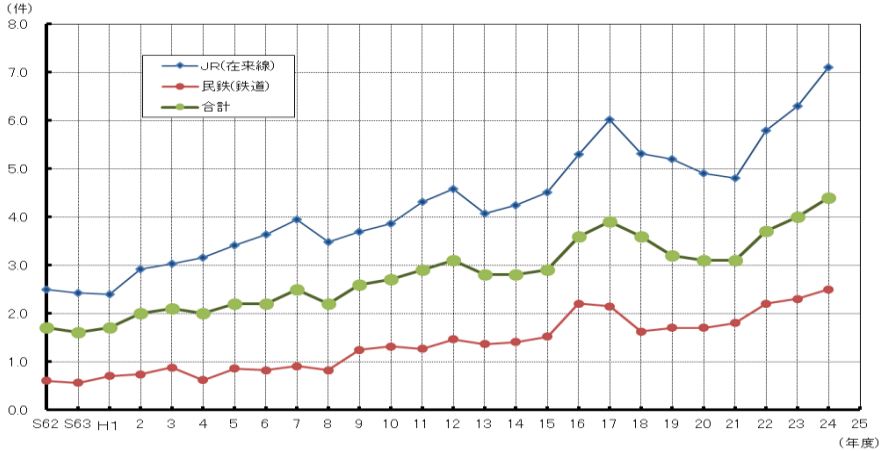
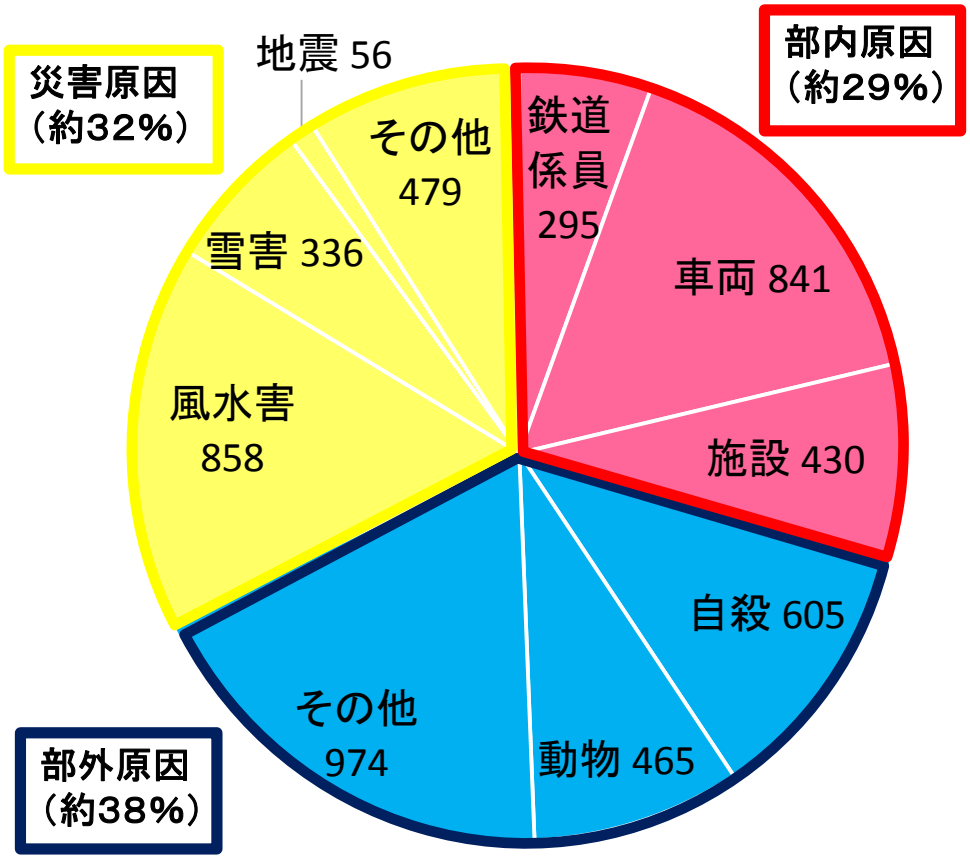
- 全鉄軌道事業者の輸送障害（事故以外の原因で30分以上の遅れが発生したもの等）は近年増加傾向にある。
- 原因をみると、部外（動物の侵入、線路立ち入り等、事業者以外に原因のある遅延）と災害（風水害、雪害、地震）を原因とするものが増加している。ただし、部外原因のうち最も数の多い自殺についてはほぼ横ばいである。

【輸送障害件数の推移】



（※）鉄道事故等報告規則は、平成18年度に改正され、スト・工事等による運休で、事前周知をしたものについては、報告の対象から除外となったため、平成18年度で一度減少している。しかしながら、平成19年度から平成25年度までの推移を見ると、輸送障害は増加の傾向。

【列車走行キロ（百万キロ）あたりの輸送障害の件数の推移】



【輸送障害の内訳】（H25年度）